

和田・釜台地区連合町内会
和田・釜台地区社会福祉協議会の広報誌

はあとぴあ

再刊16号



■ 全国社会福祉協議会の表彰	①
■ 11月わだ・かま食堂開催の様子と写真とアンケート報告	②
■ 令和8年度和田・釜台地区民生児童委員・主任児童委員のメンバー紹介	③
■ 常盤台地域ケアプラザ通信	③
■ 連町フェスティバルの予告とボランティア募集	③
■ 保土ヶ谷中学校地域防災拠点訓練の活動記録	④
■ 在宅避難の重要ポイント ①耐える・②逃げる・③備蓄	⑤
■ 防災豆知識「被災建物応急危険度判定について」	⑤
■ 和田・釜台地区の第5期ほっとなまちづくり地区別計画の最終案	⑥
■ 児童家庭支援センターゆめのねからのお知らせ	⑦
■ 保土ヶ谷区役所からのお知らせ	⑦
■ 保土ヶ谷区社会福祉協議会ニュース	⑦
■ 第10回ワールドカフェの案内	⑧

和田・釜台地区社会福祉協議会が**全国社会福祉協議会会長表彰**を浅草公会堂で受けました

-日本全国の社会福祉協議会の中から選ばれた37団体の1団体として-

この受賞は長年にわたり継続してきたふれあい食事サービス(1986年~)と配食サービス(1996年~)による一人暮らしの高齢者等とのつながり・交流活動が評価されたものです。

私たちの地区の先輩たちの地道なボランティア活動が現在まで繋がっていることにこの地区の優しさ・温かみを感じます。

これからも人々が優しく「つながる」地区を皆さんと作ってゆきましょう。

(和田・釜台地区社協 会長 播口)



第4回目「わだ・かま食堂」11月8日開店の様子とアンケート報告

— 今年度最高の78人の来店者!! —

この回は**ケンタッキー・フライド・チキン**の入った**カレーライス**を提供。予定をはるかに超える来店者で、うれしくも、ただただ忙しい午後でした。

また、以前のアンケートから今回の事前打合せで「**おみくじ付きポップコーン**」を考案し実施したところ大好評でとても有意義な会でした。

●アンケート結果を以下に掲載します。(アンケート回収 41件)

1	何年生ですか	① 1. 2年生	4	② 3・4年生	12	③ 5. 6年生	12
		④ 中学・高校生	2	⑤ 大人	11	⑥ 回答無し	
		⑦ 保育園(年長)					
2	性別	① おとこ	19	② おんな	22	③ 回答無し	
3	楽しいですか	① すごく楽しい	32	② まあまあ楽しい	8	③ あまり楽しくない	
		④ 楽しくない		回答無し	1		
4	美味しかったですか	① すごくおいしい	33	② まあまあおいしい	8	③ あまりおいしくない	
		④ おいしくない		回答無し			
5	美味しくない理由	① 味が辛い	1	② 味が甘い	4	③ 量が少ない	1
		④ 量が多い	2	⑤ その他(ない)	3	回答無し	30

6 わだ・かま食堂でいっしょにやってほしいこと

●大人：抽選会等の行事があるととっても楽しみが増します/お昼が良い/お手伝いこどもスタッフみたいなもの、やりたい子がいたら楽しいと思います/

●1.2年：おかしやカレーをふやしてほしい!/こどものイベント/

●3.4年：トランプ/ドッチボール/話しかけてほしい/だかしをできたらほしい/だかしをやってほしい/

●5.6年：トランプ/アイスを作ってほしい/みんなでワイワイ楽しめるイベントがほしい/もっと量をおおくして/タコライスを作って/バナナ/トランプ大会。おいしい/トランプ大会/

7 気づいたことや要望

●大人：先生や子どもたち、地域の方々との交流が深められ、またの開催たのしみになっています/カレーとてもおいしくいただきました。ポップコーンもバイキング食材もとてもおいしく、量も充実。満足です。準備から大変だったと思います。ごちそうさまでした。ありがとうございます/とても美味しく頂きました。かまだいにまわってくるのはまちどおしいです♡お子様の参加がとてもおよかった!きくと小学校の総合授業で食堂の紹介があって、みんなで話し合ってきたそうです。学校と情報交換をしながら活動を知ってもらえると良いですね!/

●1.2年：カレーがおいしかった/

●3.4年：ごはんはおいしい/

●5.6年：カレーをもうちょいからくしてもいいとおもいました/4カ月に1回わだ・かま食堂を開いてほしい。代金を200円にして、もう少し大きくしてほしい。バイキング最高/もうちょっとからさをこくしてほしい/おいしいから/バナナ/もっとカレーからくしてほしいです/おいしかったです!!!もっとからくしたらもっといい/

8 どの曜日と時間が良いですか

①金曜日の16~17:30: 4 ②土曜日の12~13:30: 21 ③どちらでも良い: 9 ④回答無し: 7

次回は 2026年1月10日(土) 場所:釜台自治会館 時間:12時~13時30分



ボランティアの人たち

(和田・釜台地区社協 会長 播口)

令和8年度和田・釜台地区民生児童委員・主任児童委員のメンバー紹介

保土ケ谷公会堂で、委嘱式が行われました。会長と副会長も新たに選ばれて活動しています。よろしくお願いします。

●新会長：加藤さん（和田西部）、●新副会長：皆川さん（釜台町）、●新メンバー：矢野さん（ルネ上星川）、望月さん（和田西部）

※もう一人 浦野さん（和田東部）もメンバーです。

（編集員：田中）

保土ケ谷区民生委員・児童委員 及び主任児童委員委嘱状伝達式



鹿島・矢野・加藤・皆川・山村・西馬場・望月

常盤台地域ケアプラザ通信 「第2回 グループリーダー連絡会」開催

ケアプラザで、11月6日に地域で活動されている「高齢者サロン」や「高齢者食事会」を開催されているグループのリーダーの方々にお集まりいただき「グループリーダー連絡会」を開催しました。

連絡会には講師として保土ケ谷区リハビリテーション連絡会の言語聴覚士・山下皓司先生にお越しいただき、『聞こえと飲み込み～今日からできる健康講座～』という内容で講演をして頂きました。

日頃のグループ活動の中で耳の聞こえの良くない方がグループを利用されていて「どのように対応したらいいか」という疑問や配食や食事・おやつを提供する際に「むせこむこと」や「どんなものが食べやすいのか？」とという疑問に対して講座を通じて説明をして頂きました。

また、実際にその場で参加した方に水分を飲んでもらって「水飲みテスト」や「反復唾液のみテスト」をしてもらい、自分の飲み込みの状態が低下していないかを見て頂いたり、お口の体操を先生と一緒に

行ってもらいました。

参加されたグループリーダーの方からは「先生の講座がわかりやすく、グループの活動でも早速やってみようと思う」といったお話が聞かれました。

5月に行ったリーダー連絡会で「他のグループの活動を見学してみたい」という希望があったグループの方にケアプラザのスタッフが同行し、見学に行くという取組も行いました。

今回、見学に行かれたことご自身のグループの活動の良い刺激になり、参考にすることが多かったというお話を伺いました。

今後もグループリーダー連絡会は定期的実施していく予定です。

（常盤台地域ケアプラザ）



「連町フェスティバル」の開催予告と ボランティア募集

連町フェスティバルは2年に一度開催され、令和8年6月に開催予定で準備を進めています。

スローガン：みんなで集う♡このまちが好きです！

地域住民同士のつながりと親睦が生まれるようになることを願っています。

会場では、いろいろな催し物（直売、ゲーム、体験など）を用意します。詳細は決まり次第広報します。



前回2024年連町フェスティバルの様子

（編集員：田中）

保土ヶ谷中学校地域防災拠点訓練の活動記事 —中学生が39名も参加—

快晴の中、今年7年度和田・釜台連合町内の地域防災拠点訓練が11月15日(土)に保土ヶ谷中学校の体育館とグラウンドで実施され、無事に終了することが出来ました。

参加者は、地域在住の一般住民19名、中学生39名、教職員10名の他、行政機関、来賓など135名が参加して行われました。中でも中学生には運営ボランティアとしても積極的に準備に関わって頂きました。

訓練は2班に分かれて、①特設公衆電話、②給水組立訓練、③応急担架訓練、④車いす訓練、⑤ペット用テント、⑥防災機材、⑦災害用備蓄食材、⑧パネル式トイレ、⑨区割り訓練と簡易ベット体験、⑩プライバシーテント見学・訓練をすると共に、(株)防災小町の田上 敬 講師による講話「平時は楽しく有事に備える」を拝聴しました。

閉会式後は、炊出し訓練で炊いたご飯とふりかけの弁当を食べ、親睦を深めるとともに中学生の協力が災害時の共助として大きな力になることを感じさせる訓練となりました。

地域防災拠点訓練に携わる人は毎年替わります。だからこそ、防災訓練は毎年必要であり、これからも中学生を主体とした若い人との共助による訓練を持続して参りたいと思います。

今年度の防災訓練に参加し、協力していただいた皆様にお礼を申し上げます。

(地域防災拠点運営委員会 石川委員長)



体育館内での開会式の様子



特設公衆電話の通話訓練



災害用組立パネル式トイレ



田上 敬 氏による講話



車いす訓練



給水組立訓練



応急担架訓練



防災機材の紹介と取扱説明

在宅避難の重要ポイント

①耐える・②逃げる・③備蓄

皆様、株式会社防災小町の田上 敬です。

地震や台風への備えとして、水や食料の備蓄、非常用リュックの準備をされていることでしょう。しかし、豪華な防災セットを買っても、家自体は頑丈になりません。

大切なのは、命を守るための「環境づくり」です。災害で命を落とされた方々の「なぜ家を強くしなかったのか」「なぜすぐに逃げなかったのか」という声無き声に耳を傾けるべきです。

私たちは、まず「死なない」ための準備を最優先に考えなければなりません。防災対策には、命を守るための明確な優先順位があります。備蓄は、命を守った後に行う「最後の準備」です。

① 災害を「耐える」準備 最も重要で効果があるのは、揺れや風に耐えられる頑丈な家に住むことです。

家が無事でも家具が倒れると危険ですから、家具の固定やガラスの飛散防止など、室内の安全対策を

徹底しましょう。これが災害から命を守るための「入口」です。

② 災害から「逃げる」準備 津波や土砂崩れなど、家が耐えきれないほどの破壊力を持つ災害からは、すぐに逃げるのが命綱です。

ハザードマップを見て、自宅の周りの危険と、どこへ逃げるべきか（避難先）を家族で確認しておきましょう。そして、素早く逃げられるよう、非常持ち出し袋を玄関に用意しておく必要があります。

③ 災害の後に必要な「備蓄」準備 上記の2つで命を守れた後、避難生活を生き延びるために備蓄が必要です。

水や食料、電気ガス水道が止まった時のための準備に加え、ご家族それぞれに必要なもの（薬やメガネなど）も忘れずに備えておきましょう。この順番、「耐える」→「逃げる」→「備蓄」が非常に大切です。備蓄だけをして、家が潰れてしまっただけでは意味がありません。

この3つの対策を、ご家庭でしっかりと確認し、安全な環境づくりを進めていきましょう。

（株式会社防災小町 田上 敬 氏）



防災豆知識

被災建築物応急危険度判定について

大地震が発生した時、国はいち早く被害状況を把握し、二次災害の被害を最小限に抑えなければなりません。

そこで国は「被災建築物応急危険度判定」と呼ばれる制度を設け、建築技術の専門家（被災建築物応急危険度判定士）に協力頂き、大規模地震直後に、余震や不安定な建物の倒壊や転倒、落下物による二次災害を防ぐため、市民にいち早く危険を知らせ、未然に回避できるように建築物の倒壊危険性及び建築物の部分の落下の危険性等を判定します。

できる限り早く短時間で被災建築物の被災状況を調査し、当該建築物の当面の使用の可否を判定するために、わかりやすい箇所にステッカー（3段階に色分け）を

貼ることで知らせております。

応急危険判定は、二次災害から人々の安全を確保するための制度です。

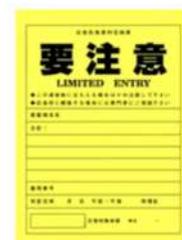
しかし災害後には、必ずと言っていい程悪質な業者による不当な工事の勧誘などがあります。判定員は、腕章やボランティア登録証を携帯して派遣されます。



（地域防災拠点運営委員会 石川委員長）



【調査済】
建築物は使用可能



【要注意】
立ち入りには十分注意すること



【危険】
その建物には立ち入らないこと

和田・釜台地区 第5期ほっとなまちづくり地区別計画の最終案

地区社会福祉協議会がまとめた計画案です。(令和8年度から令和12年度までの5年間)

皆さんのご理解とご協力をお願いします。

(和田・釜台地区社協 会長 播口)

スローガン

みんなで考え、みんなで作る「つながる」地域
つながる歴史 ⇄ **人がつながる** ⇄ **つながる組織**



過去の活動を見直し、
無理なく長く持続可能な
事業活動を目指す

- 新しい視点で過去の見直し
- 担い手・利用者の負担を軽減
- 活動に有益な情報の収集
- 長く継続可能な内容

過去から
未来に
つながる

人と人が
つながる

組織が
つながり
人が
つながる

「つながる」意識向上を図り、
住民同士の近しい関係をつくる

- 住民同士の近しい関係
- 懇親会で出会いに喜び
- 特技・自分の時間を活用
- 無理のない持続可能な活動
- 負担にならない参加

区役所・区社協・ケアプラザ、
その他諸団体との
協力関係の構築

- みんなで考え、みんなで作る
親密で緊密な関係

取組目標

このまちが好きです！だから集います

第5期計画では「わだ・かま食堂」を中心に推進していきます。

- ① **わだ・かま食堂** 奇数月第2金 or 土曜日
小学生を中心とした多世代交流の食事会
- ② **たまり場** 毎月第4月曜日
誰でも参加できる地域の居場所
- ③ **ふれあい食事サービス** 毎月第4水曜日
昼食を一緒に食べて会話と情報交換の場
- ④ **配食サービス** 毎月第4金曜日
手作り料理を配達し定期的な見守り
- ⑤ **ミニデイサービス** 毎月第3木曜日
手工芸・歌・ゲーム等を通じて交流の場
- ⑥ **広報誌はあとびあ** 1,7月 / **ボランティア通信** 4,10月
年4回の全戸配布で地域をつなぐ情報を発信



こんな取組もあります

地区連合町内会の取組

- 連町フェスティバル 2年に1回
- 地域防災拠点防災訓練 毎年11月

民生委員・児童委員の取組

- あんしん訪問、見守り

各自治会・町内会、他の取組

- 和田西部町内会 防災フェア
- 和田西部町内会 秋祭り
- 和田町でダンボの会
- 釜台町自治会の納涼祭
- 和田西部町内会・釜台町自治会・
ルネ上星川自治会でもちつき会



最新の取組はこちら

児童家庭支援センター ゆめのね からのお知らせ

おもちゃ文庫(地域活動ホームゆめ)でのイベント
「ゆめのね」は地域の子育て応援団!子育てに関して
気になること、お悩み…など、お話しませんか?

ゆめのね心理さんが訪問

ゆめのねの心理担当職員がおもちゃ文庫を
訪問。発達に関するプチ講座を開いたり、訪
れた親子と交流を重ねています。



この回のプチ講座
のテーマは「触感
の世界」でした♪

ゆめのね心理さんが訪問 R8.1/8, 3/12
10:00~12:00の開催です

子育ておしゃべりカフェ

地域活動ホームゆめ「喫茶」提供のお菓子&飲
み物は、毎回、ご来場者の皆さんにご好評いた
だいています。参加者さん同士の交流も生まれ
ています。



子育ておしゃべりカフェ R8.2/12
10:00~12:00の開催です



ゆめのねのHPはこち
らのQRコードから

(児童家庭支援センターゆめのね
センター長 山下)

保土ヶ谷区役所からのお知らせ

-ほっとなまちづくりフォーラム-

第42回保土ヶ谷区社会福祉大会を開催します!

【日程】3月7日(土)13時30分~16時(13時開場)

【会場】保土ヶ谷公会堂

※ロビーで福祉バザーも実施します。

【内容】●社会福祉功績者表彰式典

地域福祉に貢献された方々へ感謝の意を表し、表彰
式を行います。

●地区活動発表/講演

「見守り・支えあい」をテーマに各地区で取り組んで

保土ヶ谷区社会福祉協議会ニュース

令和7年9月の統計資料を見ますと、『区民のうち
約4人に1人は“ひとり暮らし”』であることがわかりま
した。“ひとり暮らし”は年齢に問わずですので、全世
代になります。ちなみに、65歳以上の方の一人暮らし
の割合は1割に満たない程度ですので、世代問わず
“ひとり暮らし”の方が多くなってきています。

そこで大事なのが、“ひとり暮らし”の方をどう見守
るか。大災害の時や急な体調変化の対応など、どう
しても難しい場面が多々あります。 だからこそ、近所

いる活動の発表をします。

発表地区: 中央東部地区・常盤台地区・千丸台地区

講師: 小沼 春日氏(関東学院大学社会学部 教授)

※式典・活動発表は手話通訳・要約筆記があります。



みなさん
是非来てね!

◀保土ヶ谷区公式
マスコットキャラクター
ほどぴー

(保土ヶ谷福祉保健センター 福祉保健課)

同士・仲間同士・知り合い同士の見守りなど、自分
にもできる「見守り・ささえあい」やご自身の周りのこと
を考えてみませんか。

地域福祉保健計画では
「見守り・ささえあい」をテーマ
の一つに掲げています。

和田・釜台地区計画のスロー
ガンは『みんなで考え、みんな
でつくる「つながる」地域』で
す。ちょっとした“気遣い”が
「見守り・ささえあい」活動につながります。

(保土ヶ谷区社会福祉協議会)



じゃがポラくん



第10回 和田・釜台地区ワールドカフェ

このまちが好きです！だから集い、語ります

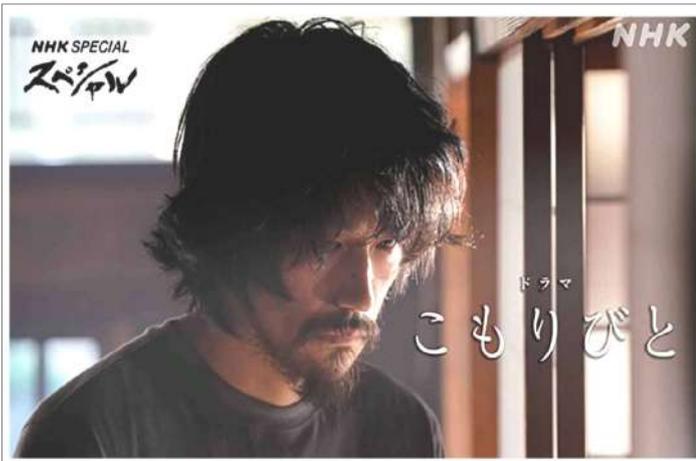
日時

令和8年2月23日（祝：月曜日）13：30～15：30

場所

和田西部町内会館

【「こもりびと」DVDの鑑賞と歓談の会】



【ドラマ「こもりびと」の解説文】

10年以上ひきこもり生活を送る倉田雅夫(松山ケンイチ)。重いストレスを抱え働けなくなったことがきっかけだった。厳格な父・一夫(武田鉄矢)は元教師。地元でも尊敬を集める存在だが、雅夫の存在を世間から隠し、立ち直らせることも諦めていた。しかし、自らの余命宣告を機に、最後にもう一度息子と向き合うことに。一方の雅夫は、閉ざされた部屋の中で人知れず、ひきこもりから抜け出す道を必死で探っていた (Copyright NHK Public)

どなたでも参加できます、若い人の参加大歓迎！



主催：和田・釜台地区社会福祉協議会

「ワールドカフェ」とは？

地域住民が広く集まり自分たちの地区について語りあう機会を定期的にする目的で開催されています。